

クラスター	地域健康増進系クラスター		
授業科目名	学術研究から考える少子高齢化対策		
担当者名	責任者	野村 恭子	分担者 前田 恵理
単位数	1単位(選択)	配当年次	1年次
授業形態	講義(WebClass)	実施場所	授業計画の[実施場所]を参照
開講期間	2026年4月下旬～2027年1月末日		
開講曜日・時間	オンディマンド		
授業の概要・到達目標 <p>授業の目的: 昨今、我が国は、超少子高齢化社会に突入しており、ここ秋田県ではそれが顕著に表れている。少子高齢化社会の健康問題としては、若い女性のやせと低出生体重児の増加、就労にともなう月経関連症状や排卵異常、妊娠合併症などから、高齢者の寝たきり、とくに女性の健康寿命の延伸を目的とした公衆衛生学的な課題が多数あることについて学ぶことを目的とする。</p> <p>授業の到達目標: 学術研究からどのような対策が立てられるのかに焦点をあて、問題提起を行う。問題提起される領域において、どのような学術研究が行われているのかを調べ、そこからどのような研究がさらに必要なのかワークを行うことを目標とする。</p> <p>授業の概要:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学術研究から考える超少子高齢化対策 2. プレコンセプションケア総論 3. 魚介類摂取とプレコンセプションケア 4. 日本の不妊治療と日産婦ART-DB 5. 女性の就労と健康 6. フレイル予防と健康寿命延伸 			
授業計画			
	講 義 題 目 (講 義 内 容)	担当教員	講座名 〔実施場所〕
1	学術研究から考える超少子高齢化対策	野村 恭子	衛生学・公衆衛生学 〔WebClass〕
2	プレコンセプションケア総論	前田 恵理	
3	魚介類摂取とプレコンセプションケア		
4	日本の不妊治療と日産婦ART-DB		
5	女性の就労と健康	野村 恭子	
6	フレイル予防と健康寿命延伸		
授業形態および成績の評価方法・基準 <p>WebClassでの講義30時間＋自学自習15時間、計45時間で1単位とし、評価は3分の2以上の視聴時間で行う。</p>			
問い合わせ先(氏名、メールアドレス等) <p>鄭 松伊, jonsoni@med.akita-u.ac.jp</p>			
その他特記事項 <p>履修に関する情報: WebClassにて講義を各自視聴する。 ※視聴推奨期間 4月下旬～12月31日 教科書・参考文献: 必要に応じて資料を配付する。 自学自習における学習内容: 到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。</p>			